

伏羲<sup>ふつぎ</sup>から倉頡<sup>そうけつ</sup>に至<sup>いた</sup>って始めて<sup>はじめて</sup>文字<sup>もじ</sup>を制定<sup>せい</sup>し、

始<sup>はじ</sup>

めて

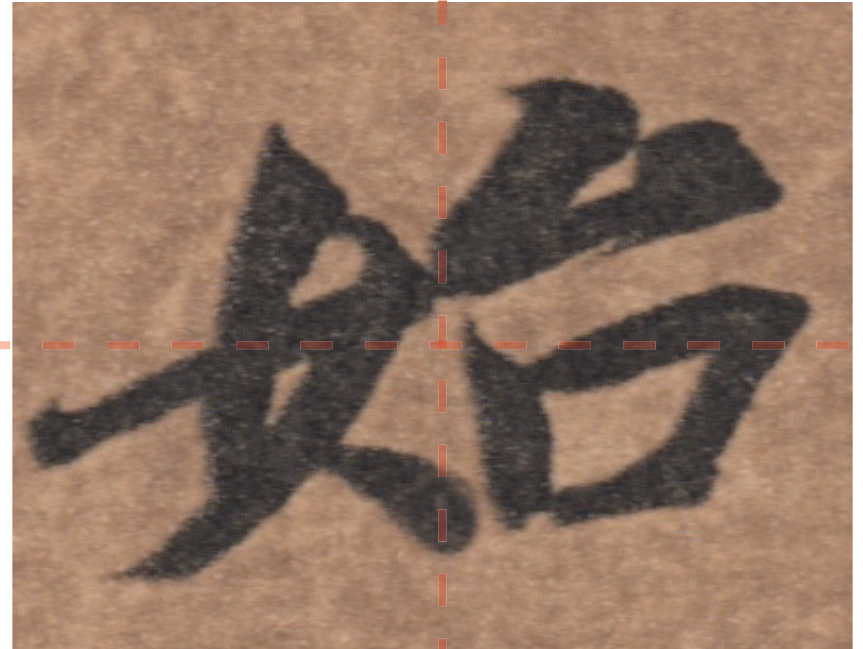
文字<sup>もじ</sup>

字<sup>もじ</sup>

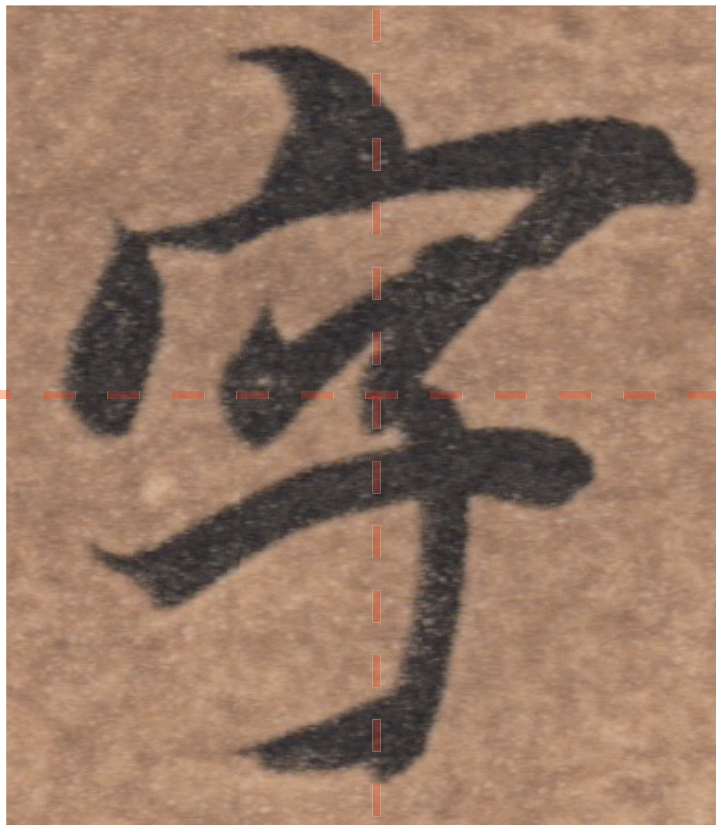
を

制<sup>せい</sup>

し、



文





それから黄帝の時、衣裳を着用した。



すなわ

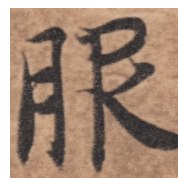
ち



いしやう

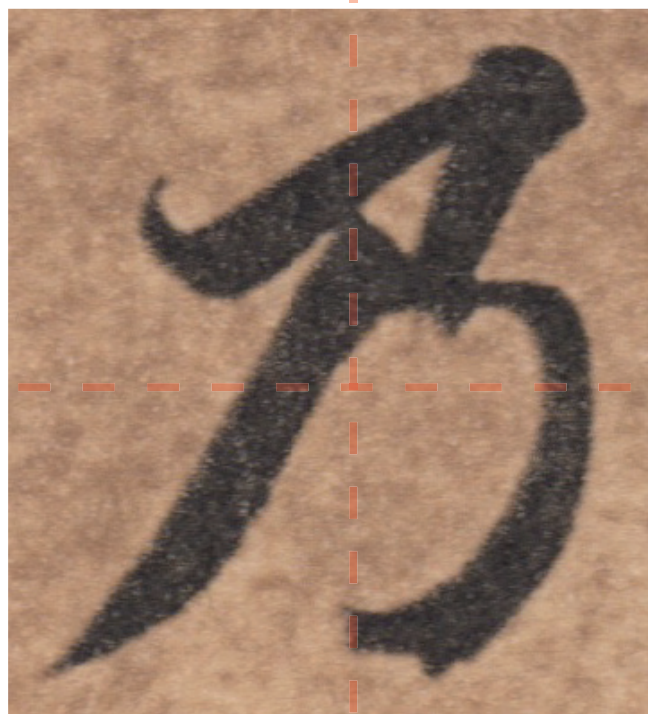
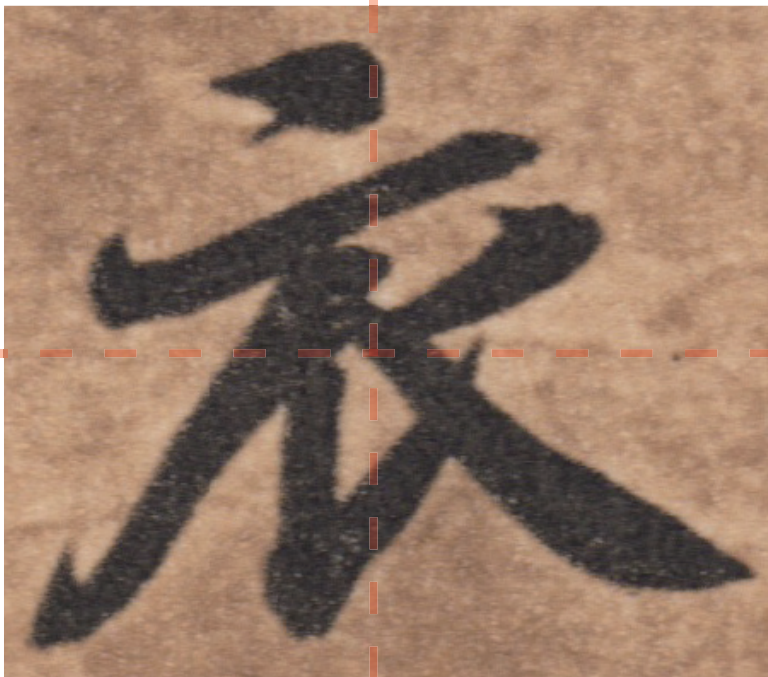


を

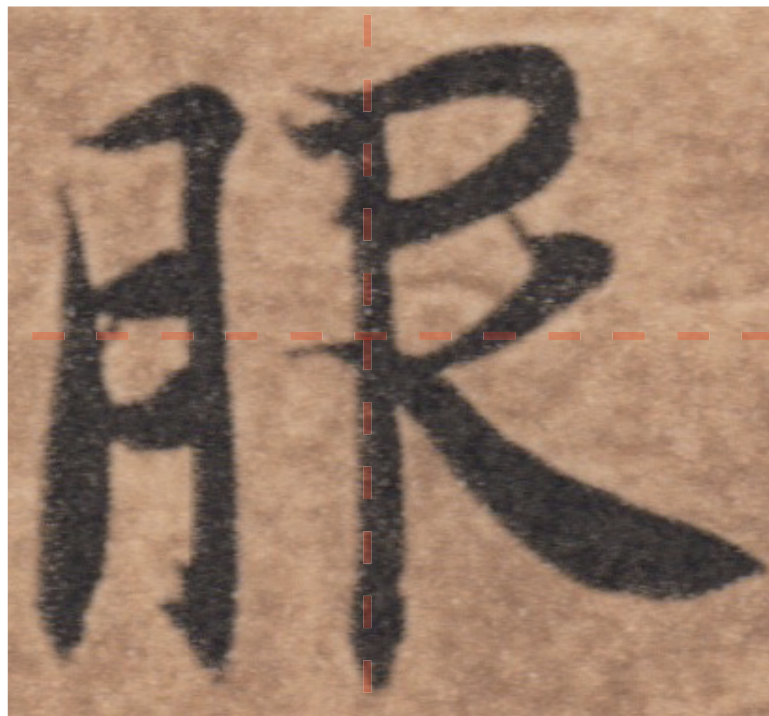
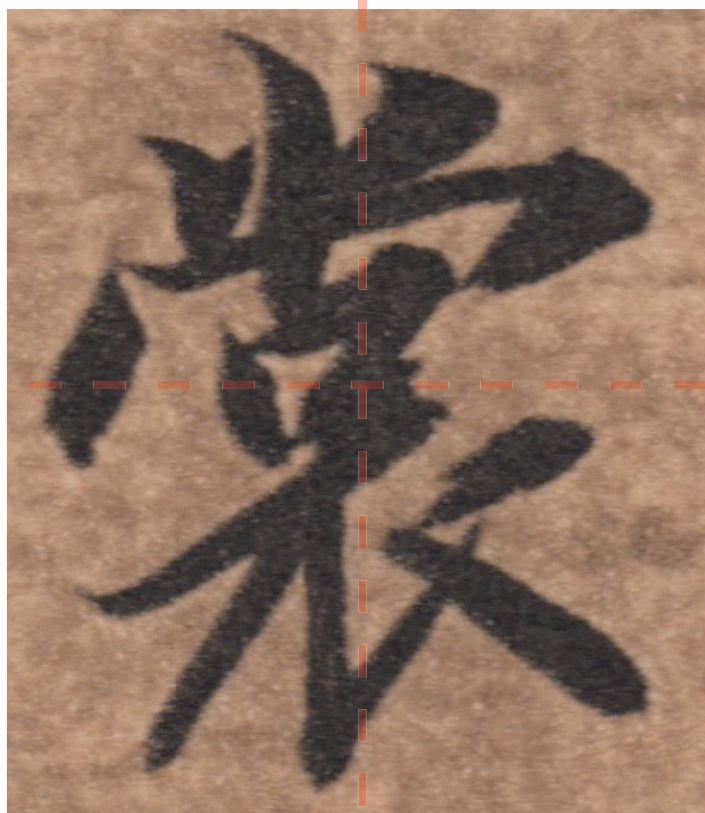


ふく

す。



微



陽



(文字・衣服ができ秩序が定まり) 賢者に帝位を讓った。(陶虞氏が有虞に、有虞が禹に位を讓ったように。)

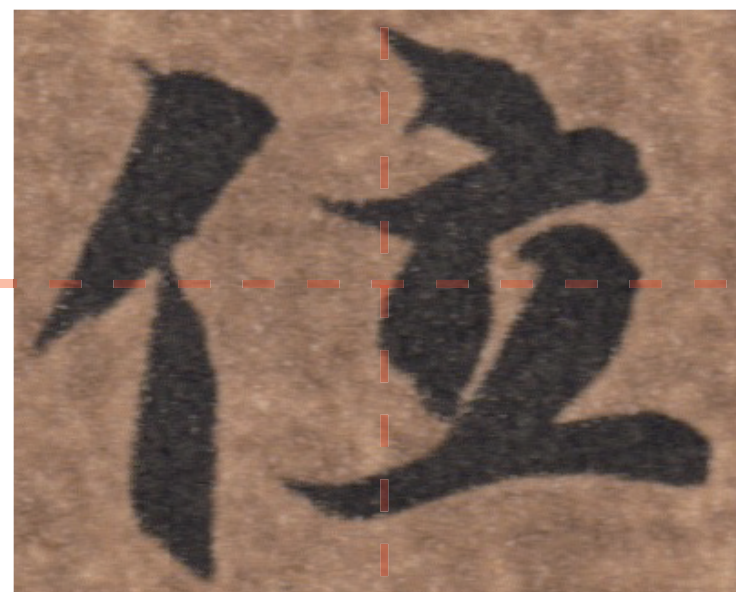
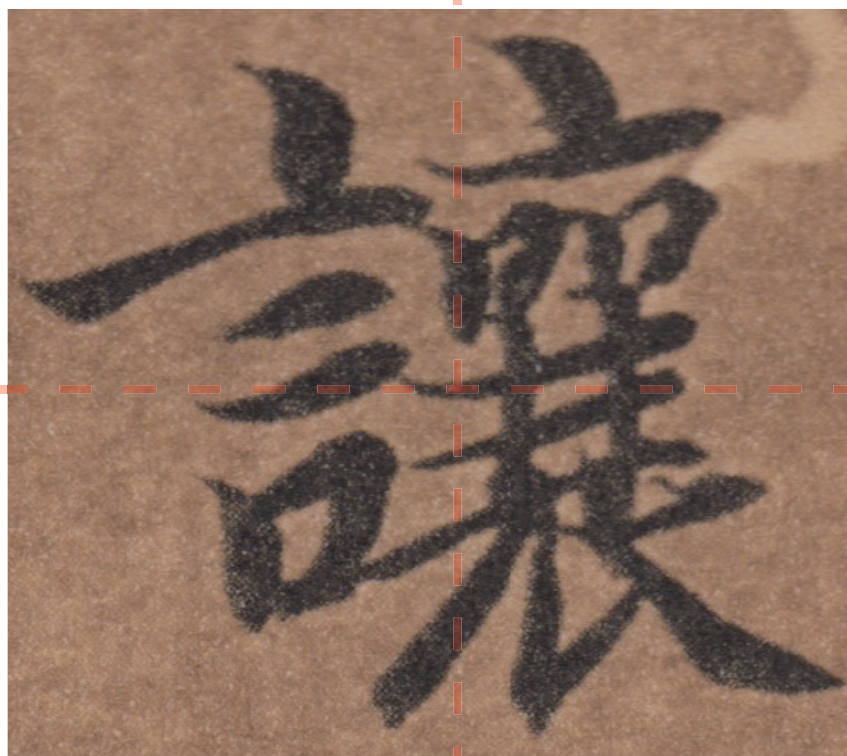
位 い

を推 お

し國 くに

を讓 ゆず

るは(有虞・陶唐) ゆうぐ とうとう



灰支



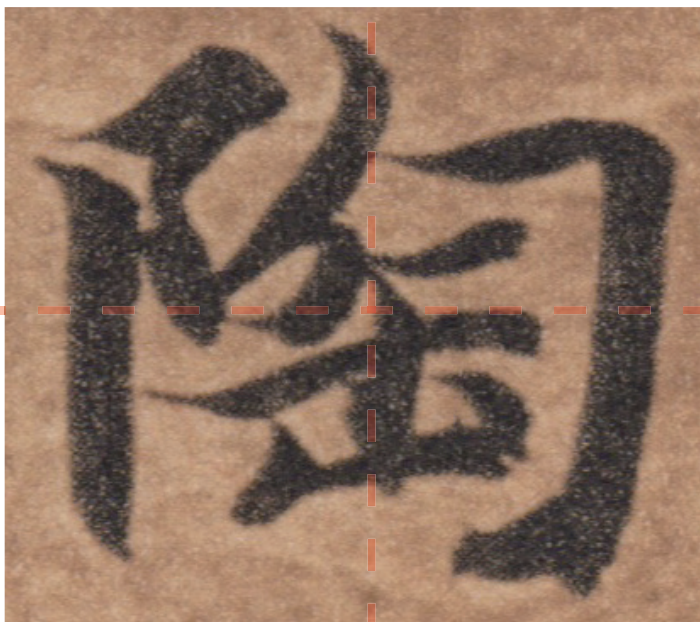
(位<sup>い</sup>を推<sup>お</sup>し国<sup>くに</sup>を譲<sup>ゆず</sup>るは)

有虞<sup>ゆうぐ</sup>

陶唐<sup>とうとう</sup>

(文字・衣服ができた秩序が定まり)  
(賢者に帝位を譲った。)

陶虞氏が有虞に、有虞が禹に位を譲ったように。



豪蕭

陽

※虞と同字

虞



暴虐に死亡した残りの人民を弔い、暴君の罪を堂々と討った、(殷の湯王と周の武王発)

※押韻のため殷が後になった。

民

たみ

を

弔

とむら

い

罪

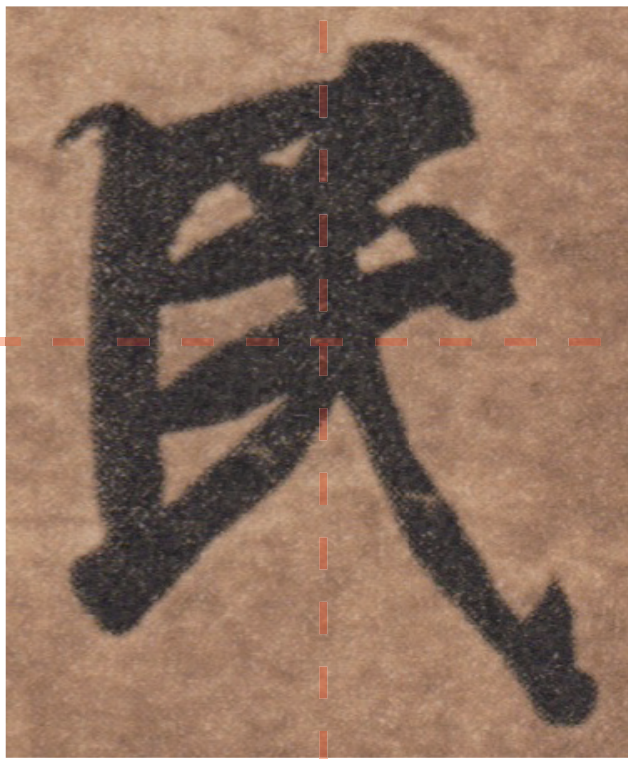
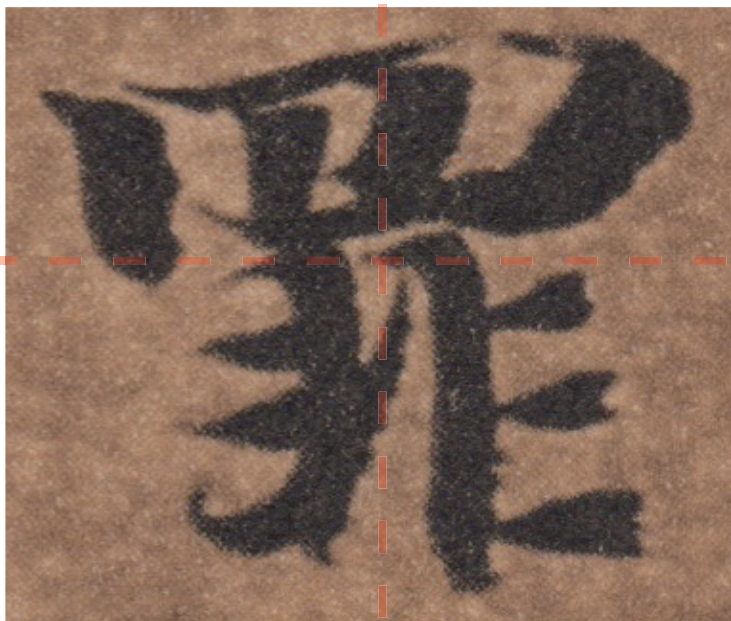
つみ

を

伐

う

つ





(暴虐に死亡した残りの人民を弔い、暴君の罪を堂々と討った。) 殷の湯王と周の武王発

※押韻のため殷が後になった。

周

しゅう

の

發

はつ

殷

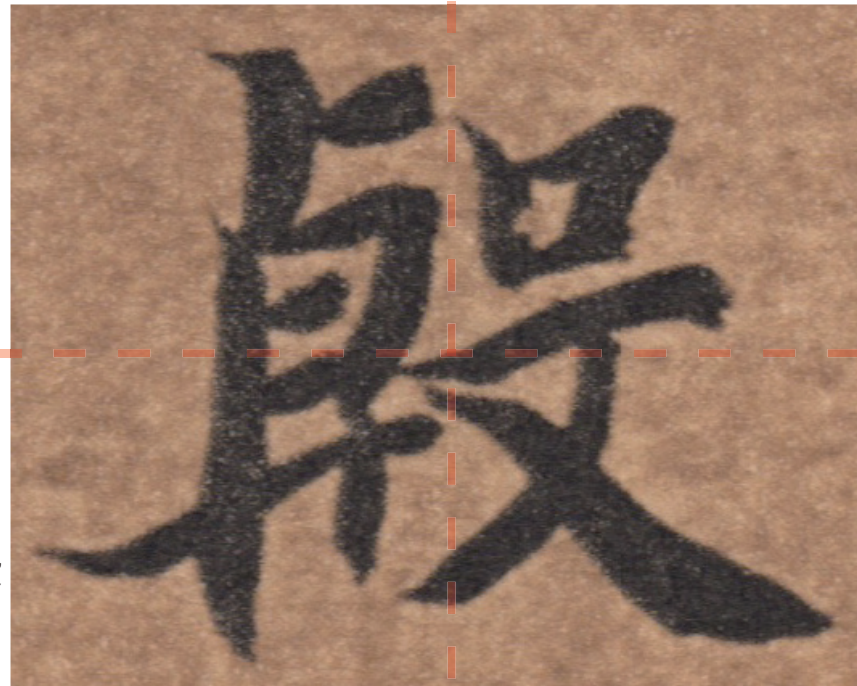
いん

の

湯

とう

※殷と同字



文

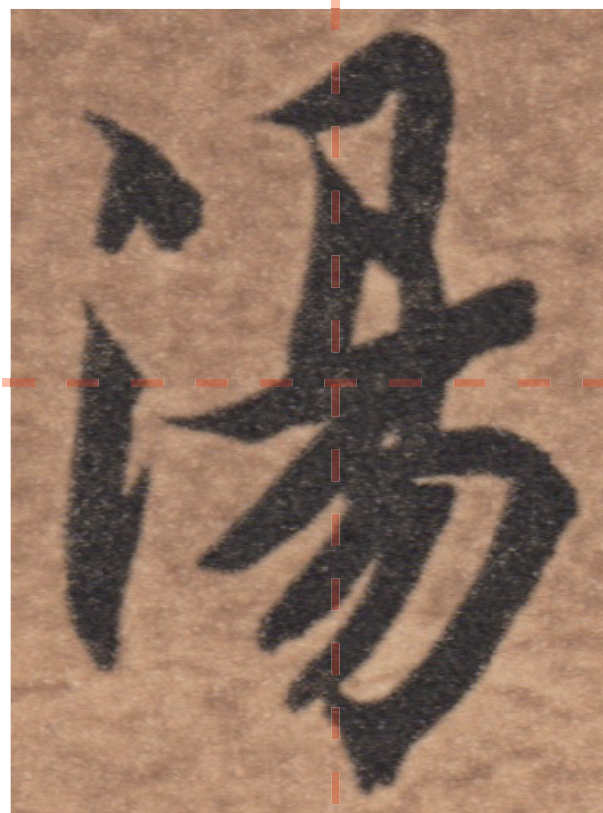


尤

※発と同字



陽





天子が朝廷に坐して不斷に道を尋ねもとめて居れば、衣裳を垂れ手をこまねいていても百官が等しく和合し、

朝

ちよう

に坐

ざ

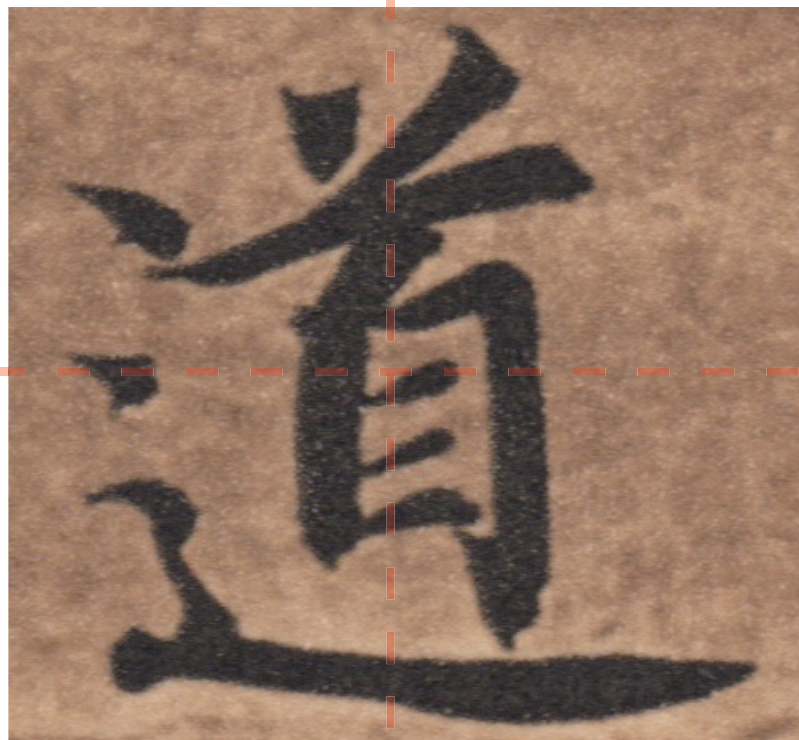
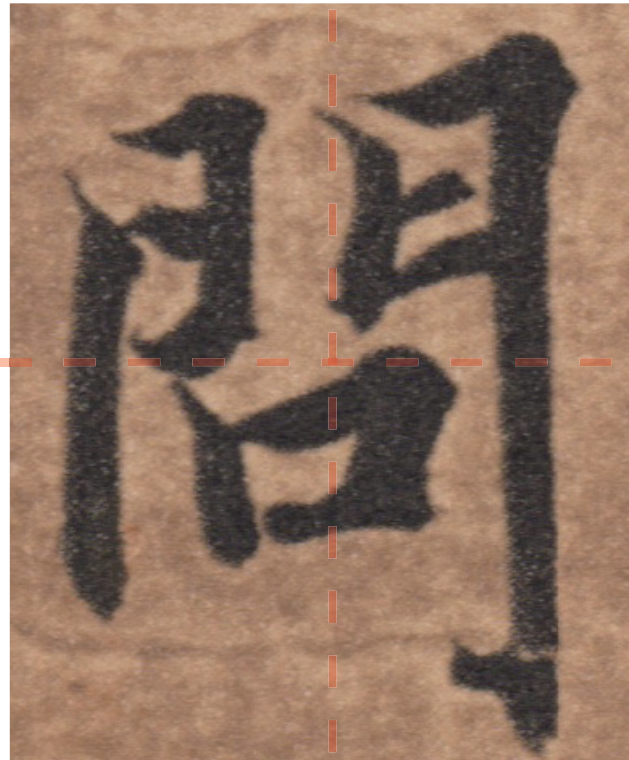
して道

みち

を問

と

へば





それが平等なけじめとなり、天下は治まる。

垂

すい

拱

ぎよう

して

平

へい

章

しよう

す



※章と同字



※垂と同字



庚

支

陽



人民をいつくしみ育て、

黎

れい しゆ

首

を 愛

あい いく

育

し、

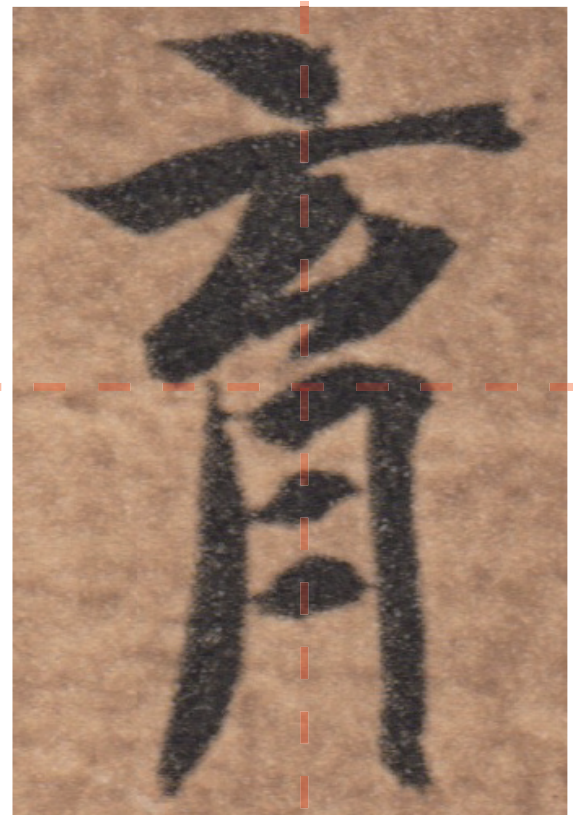
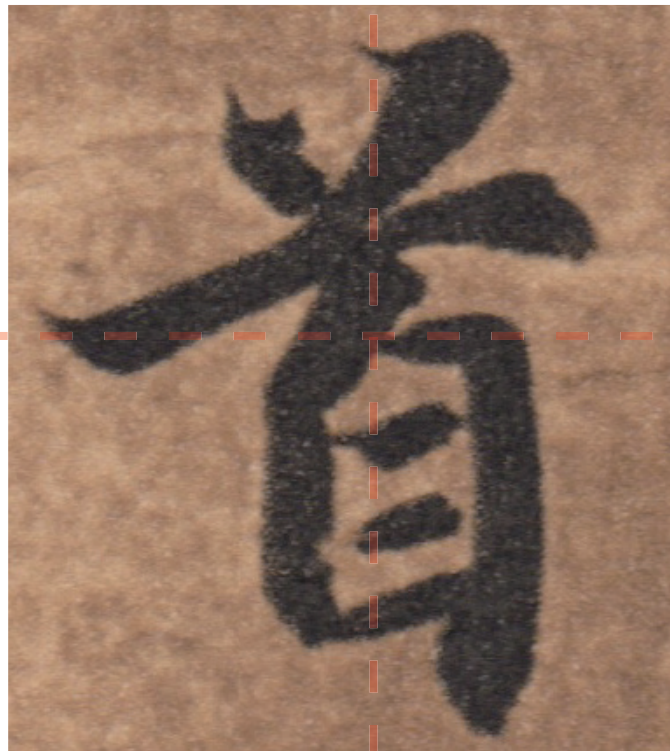


※黎と同字



※愛と同字

齊支

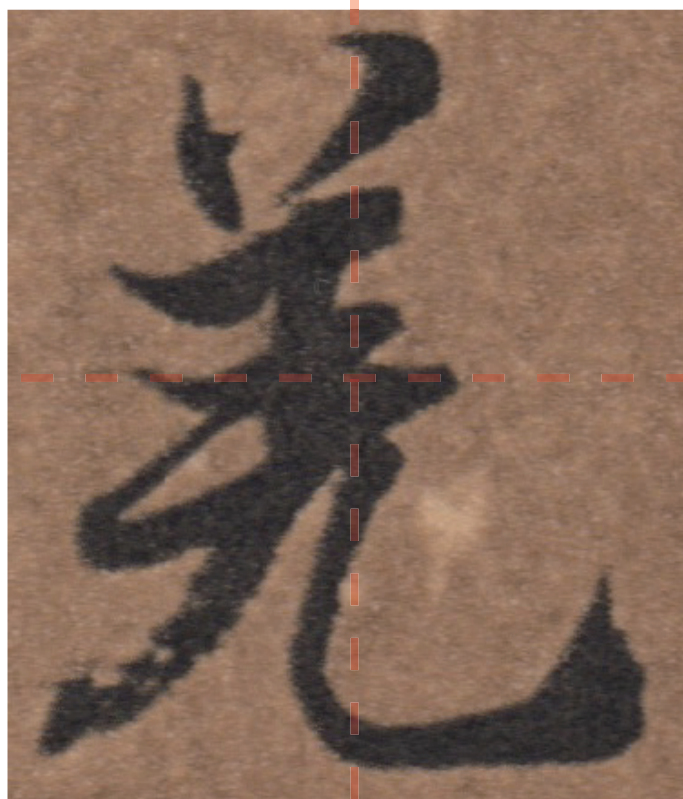
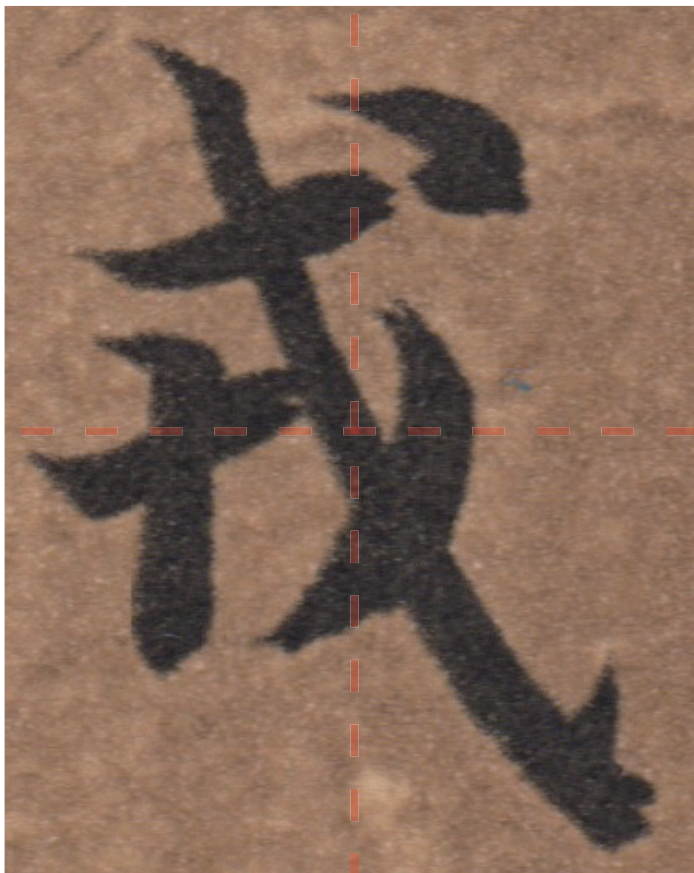




辺境の戎羌を服従させる。

戎 じゆう  
 羌 きやう  
 を  
 臣 しん  
 伏 ぶく

せしむ。



東

真

陽